

証券コード4651

SANIX



**2011年3月期
第2四半期 決算説明会**

株式
会社 **サニックス**

2010年11月11日

(注) 数値については、単位未満を切り捨てて表示しております。

目 次

1. 2011年3月期 第2四半期の概況 P. 1

2. 2011年3月期 業績見通し P. 10

免責事項

本資料には、将来の業績予測に関する記述が含まれています。こうした将来の業績予測に関する記述は、将来業績を保証することを意図するものではなく、一定の前提条件と経営陣の現時点で入手可能な情報に基づく判断に基づくものです。従いまして、将来時点における実際の収益及び業績は、こうした将来の業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。

以下の要因により、将来時点における当社の業績は、本資料内の将来の業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。

日本の景気動向、日本のサービス業の業績動向、他のサービス業者との競争環境、技術革新、規制環境、法律環境及びその他の弊社の予測を超える様々な要因

本資料は当社が発行する証券への投資を勧誘することを企図した資料ではありません。本資料に含まれる情報に基づいて発生した損失・債務に関して、当社は一切の責任を負わない旨をご了承下さい。

2011年3月期 第2四半期の概況



第2四半期 決算概況

第2四半期累計実績については、前期比増収増益

売上高	：	14,609百万円	（前期比増減額	+2,551百万円）
営業利益	：	1,132百万円	（前期比増減額	+947百万円）
経常利益	：	1,090百万円	（前期比増減額	+956百万円）
当期純利益	：	806百万円	（前期比増減額	+745百万円）

◆売上高◆

HS事業部門においては、既存商品販売の堅調な推移に加え、太陽光発電システム販売が加味されたこと、ES事業部門においては、引き続き営業効率の向上に注力した結果、前期比増収となった。

環境資源開発事業部門においては、廃プラ加工処理収入は取引先件数と搬入量が増加し、前期比27.5%増、売電収入は苫小牧発電所の定期修繕期間を前期より短縮したこと、より好条件の売電先に契約を変更したことにより前期比8.5%増となった。また、有機廃液処理は前期比11.2%減となったものの、最終処分場買収に伴う埋立処分等収入が加わったことにより、環境資源開発事業部門全体では前期比27.4%増となり、グループ全体の売上高は、前期比21.2%増となった。

◆利益面◆

前期比増収に加え、固定費削減による収益改善の結果、前期比大幅な増益となった。

第2四半期 損益の実績と計画差異

(単位:百万円)	2010/3期		2011/3期					
	第2四半期累計		第2四半期累計					
	実績値	売上比	実績値	売上比	前期比	計画値	計画比	計画差異
売上高	12,057	100.0%	14,609	100.0%	121.2%	14,400	101.5%	209
H S 部門	7,212	59.8%	8,681	59.4%	120.4%	8,554	101.5%	127
E S 部門	1,229	10.2%	1,322	9.1%	107.6%	1,263	104.7%	59
環境資源	3,616	30.0%	4,605	31.5%	127.4%	4,583	100.5%	22
売上原価	6,889	57.1%	8,509	58.3%	123.5%	8,472	100.4%	37
売上総利益	5,168	42.9%	6,099	41.7%	118.0%	5,927	102.9%	171
販管費	4,983	41.3%	4,966	34.0%	99.7%	4,867	102.0%	98
営業利益	185	1.5%	1,132	7.8%	612.1%	1,060	106.8%	72
経常利益	133	1.1%	1,090	7.5%	815.1%	1,016	107.3%	74
当期純利益	60	0.5%	806	5.5%	—	820	98.3%	△ 13

■売上高は、HS事業部門、ES事業部門、環境資源開発事業部門ともに計画比増収。

利益面では売上高が計画比増収となったほか、グループ全体での合理化策を推進したこともあり、固定費削減により収益性が改善され、営業利益・経常利益は計画比増益となった。また当第1四半期に、資産除去債務会計基準の適用に伴う特別損失として114百万円を計上。

第2四半期 セグメント別損益の実績と計画差異

(単位:百万円)

		2010/3期		2011/3期					
		第2四半期累計		第2四半期累計					
		実績値	前期比	実績値	売上比	前期比	計画値	計画比	計画差異
HS 部門	売上高	7,212	90.4%	8,681	100.0%	120.4%	8,554	101.5%	127
	売上総利益	4,816	89.3%	5,008	57.7%	104.0%	4,471	112.0%	537
	販管費	2,718	77.2%	2,748	31.7%	101.1%	2,651	103.7%	96
	営業利益	2,098	112.0%	2,260	26.0%	107.7%	1,819	124.2%	440
ES 部門	売上高	1,229	73.4%	1,322	100.0%	107.6%	1,263	104.7%	59
	売上総利益	520	82.1%	500	37.8%	96.2%	515	97.1%	△ 15
	販管費	442	68.9%	383	29.0%	86.7%	393	97.4%	△ 10
	営業利益	78	—	117	8.9%	149.7%	122	96.1%	△ 4
環境 資源	売上高	3,616	96.1%	4,605	100.0%	127.4%	4,583	100.5%	22
	売上総利益	△ 168	—	589	12.8%	—	941	62.7%	△ 351
	販管費	768	114.7%	778	16.9%	101.3%	742	104.9%	36
	営業利益	△ 937	—	△ 188	—	—	198	—	△ 387
配賦 不能	営業利益	△ 1,053	—	△ 1,056	—	—	△ 1,080	—	23

第2四半期 損益の実績と計画差異

(単位:百万円)		2011/3期					
		第1四半期			第2四半期		
		実績値	計画値	計画差異	実績値	計画値	計画比
売上高	7,274	7,438	△ 163	7,334	6,961	105.4%	372
H S 部門	4,403	4,595	△ 191	4,277	3,958	108.1%	319
E S 部門	649	628	20	672	634	106.0%	38
環境資源	2,221	2,214	7	2,384	2,369	100.6%	15
売上原価	4,157	4,359	△ 202	4,352	4,112	105.8%	239
売上総利益	3,117	3,078	38	2,981	2,848	104.7%	132
販管費	2,505	2,552	△ 46	2,460	2,315	106.3%	145
営業利益	611	526	85	520	533	97.6%	△ 12
経常利益	593	506	86	496	509	97.5%	△ 12
当期純利益	440	336	103	365	483	75.7%	△ 117

第2四半期 セグメント別損益の実績と計画差異

(単位:百万円)

		2011/3期						
		第1四半期			第2四半期			
		実績値	計画値	計画差異	実績値	計画値	計画比	計画差異
HS 部門	売上高	4,403	4,595	△ 191	4,277	3,958	108.1%	319
	売上総利益	2,674	2,496	177	2,334	1,974	118.3%	360
	販管費	1,388	1,403	△ 15	1,360	1,248	109.0%	112
	営業利益	1,285	1,093	192	974	726	134.2%	248
ES 部門	売上高	649	628	20	672	634	106.0%	38
	売上総利益	238	257	△ 19	261	257	101.6%	4
	販管費	182	195	△ 13	200	197	101.4%	2
	営業利益	55	61	△ 6	61	60	102.0%	1
環境 資源	売上高	2,221	2,214	7	2,384	2,369	100.6%	15
	売上総利益	204	324	△ 119	385	617	62.4%	△ 231
	販管費	383	371	12	395	371	106.4%	23
	営業利益	△ 179	△ 47	△ 131	△ 9	246	—	△ 255
配賦 不能	営業利益	△ 551	△ 581	30	△ 505	△ 498	—	△ 6

第2四半期 HS事業部門

■ 営業展開を修正し前期比計画比ともに増収増益

太陽光発電システム販売については営業展開の修正を行い、当第2四半期累計期間は利益率の高い既存商品販売に注力。シロアリ防除施工は計画に及ばなかったものの、他の既存商品販売は概ね計画比増収となったため、全体では計画比増収となった。

また、利益率の高い既存商品販売が計画比増収となったため、営業利益についても、計画比24.2%増の2,260百万円となった。

	2010/3期		2011/3期		
	2Q累計		2Q累計		
	実績値	前期比	計画値	計画比	計画差異
(単位:百万円)					
売上高合計	7,212	120.4%	8,554	101.5%	127
シロアリ防除施工	2,763	92.9%	2,806	91.5%	△ 238
床下・天井裏換気システム	1,606	117.5%	1,586	118.9%	300
基礎補修・補強工事	1,447	83.3%	1,010	119.4%	195
家屋補強システム	193	120.1%	180	128.9%	52
太陽光発電システム	—	—	1,927	63.1%	△ 711
その他	1,202	130.8%	1,043	150.7%	528
営業利益	2,098	107.7%	2,260	124.2%	440

第2四半期 ES事業部門

■建物防水塗装補修施工等の大型工事受注により計画比増収減益

建物給排水補修施工は計画比減収となったものの、利益率の高い防錆機器取付施工については、前期提携先との関係深耕、及び今期新規提携先からの受注により、ほぼ計画通りの結果となったほか、建物防水塗装補修施工の大型工事受注により、全体では計画比増収となった。

なお、外注工事費の割合が高い建物防水塗装補修施工が計画比増収となったことに伴い、営業利益は計画比3.9%減の117百万円となった。

	2010/3期		2011/3期				
	2Q累計		2Q累計				
	実績値		実績値	前期比	計画値	計画比	計画差異
(単位:百万円)							
売上高合計	1,229		1,322	107.6%	1,263	104.7%	59
防錆機器取付施工	344		326	94.7%	314	103.6%	11
建物給排水補修施工	388		391	100.8%	453	86.5%	△ 61
建物防水塗装補修施工	103		257	247.7%	98	262.8%	159
太陽光発電システム	—		1	—	—	—	1
その他	392		345	88.0%	397	86.9%	△ 51
営業利益	78		117	149.7%	122	96.1%	△ 4

第2四半期 環境資源開発事業部門

■前年同期比増収、赤字幅は縮小するも黒字化には至らず

廃プラ加工処理収入及び埋立処分等収入は堅調に推移したものの、有機廃液処理においては外食産業や食品工場からの排出量が減少し、計画比減収となった。また、苫小牧発電所においては、定期修繕を計画より延長して実施したことにより、稼働日数が計画を下回ったため、計画比減収となった。

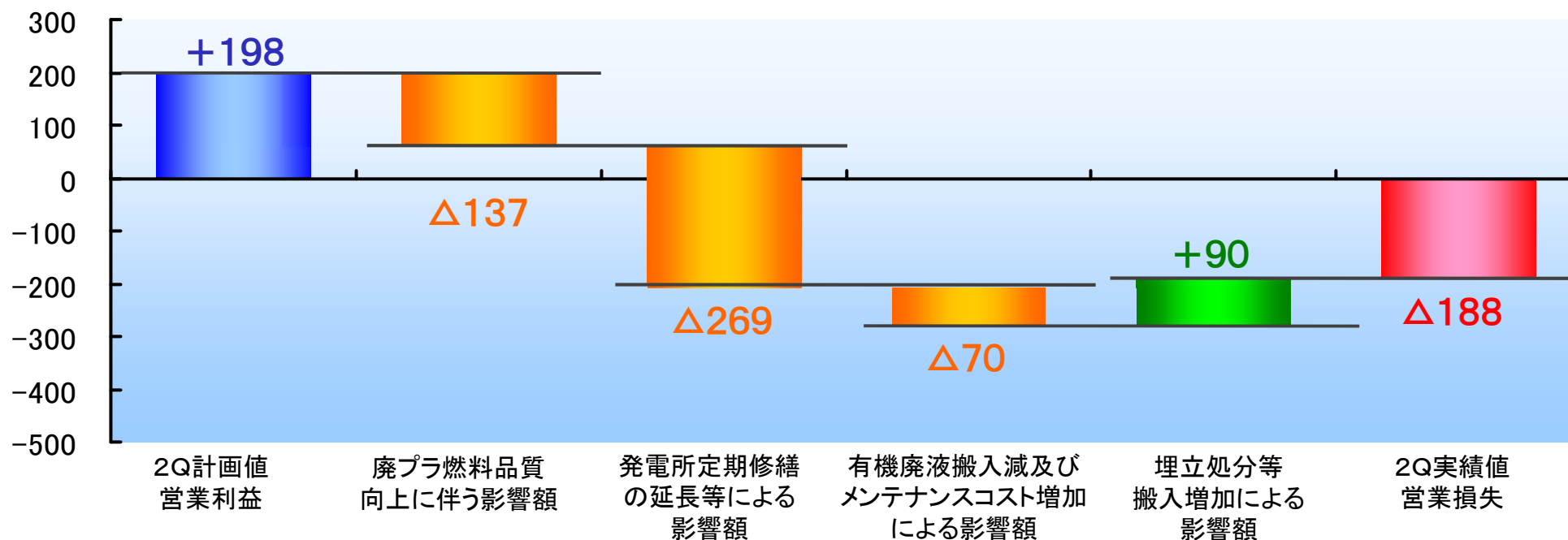
利益面では、苫小牧発電所における定期修繕の延長に伴う減収及び燃料品質向上への取り組みに伴うコスト増加等の影響により、収益改善の傾向は見られるものの計画比減益となった。

(単位:百万円)	2010/3期	2011/3期				
	2Q累計	2Q累計		2Q累計		
	実績値	実績値	前期比	計画値	計画比	計画差異
売上高合計	3,616	4,605	127.4%	4,583	100.5%	22
廃プラ加工処理	1,952	2,488	127.5%	2,369	105.0%	119
有機廃液処理	781	694	88.8%	724	95.9%	△ 29
売電収入	637	690	108.5%	817	84.5%	△ 126
埋立処分等収入	—	459	—	427	107.4%	31
その他	245	272	111.2%	244	111.4%	27
営業利益	△ 937	△ 188	—	198	—	△ 387

第2四半期 環境資源開発事業部門 計画比減益要因

■ 環境資源開発事業部門における営業損益の分析

(単位:百万円)



*** 廃プラ加工処理**

売上高は計画比増収となるも、発電所向け燃料及び外販燃料の品質向上に伴うコスト増により計画比減益。

*** 苫小牧発電所**

1Qにおける定期修繕延長及び修繕費増加により、計画比減益。

*** 有機廃液処理**

搬入計画未達及びメンテナンスコストの増加により、計画比減益。

*** 埋立処分等**

グループ外搬入量増加に伴い、計画比増益。

2011年3月期 業績見通し



2011年3月期 業績予想の修正について

通期連結業績見通し

売上高	：	30,000百万円	（ 当初計画値：	27,500百万円 ）
営業利益	：	1,300百万円	（ 当初計画値：	1,240百万円 ）
経常利益	：	1,230百万円	（ 当初計画値：	1,150百万円 ）
当期純利益	：	900百万円	（ 当初計画値：	900百万円 ）

◆◆業績見通しのポイント◆◆

HS事業部門 （営業損益 当初計画比増減額:+210百万円）

当第2四半期累計実績において計画比増収増益となったため、下半期も堅調に推移するものと予想。特に当下半期においては、太陽光発電システム販売に注力する。

ES事業部門 （営業損益 当初計画比増減額:増減なし）

当第2四半期累計実績は計画比減益となるも、安定的に黒字を確保。大幅な改善は見込めないものの当下半期以降も堅調に推移すると予想。

環境資源開発事業部門 （営業損益 当初計画比増減額:△150百万円）

苫小牧発電所における定期修繕の延長や燃料品質強化への取り組み等、当初計画と当第2四半期累計実績の乖離状況を鑑み、下半期予想を修正。当第2四半期累計期間に実施した取り組みにより、下半期は収益性が改善される見通し。

2011年3月期 通期業績見通し

(単位:百万円)		2011/3期							
		2Q累計		下半期			通期		
		実績値	修正 計画値	前期比	当初 計画値	差異	修正 計画値	前期比	当初 計画値
売上高	14,609	15,390	123.3%	13,100	2,290	30,000	122.3%	27,500	2,500
HS部門	8,681	8,688	126.9%	7,196	1,492	17,370	123.6%	15,750	1,620
ES部門	1,322	1,482	112.4%	1,307	175	2,805	110.1%	2,570	235
環境資源	4,605	5,219	120.9%	4,597	622	9,825	123.8%	9,180	645
売上原価	8,509	10,090	130.5%	8,352	1,737	18,600	127.2%	16,824	1,775
売上総利益	6,099	5,300	111.6%	4,747	552	11,400	114.9%	10,675	724
販管費	4,966	5,133	113.0%	4,567	565	10,100	106.0%	9,435	664
営業利益	1,132	167	81.6%	180	△12	1,300	333.1%	1,240	60
経常利益	1,090	139	153.4%	134	5	1,230	547.0%	1,150	80
当期純利益	806	93	—	80	13	900	—	900	—

■売上高については、主力のHS事業部門において、高単価の太陽光発電システム販売に注力することにより、当初計画比大幅な増収となるほか、当第2四半期累計実績を踏まえ、各事業部ともに当初計画比増収の見通し。利益面は、通期では当初計画比増収に伴い営業利益・経常利益ともに当初計画比増益となるものの、当期純利益については当初計画通りとなる見通し。

2011年3月期 セグメント別損益の見通し

		2011/3期									
		2Q累計	下半期				通期				
(単位:百万円)		実績値	修正 計画値	前期比	当初 計画値	差異	修正 計画値	前期比	当初 計画値	差異	
HS 部門	売上高	8,681	8,688	126.9%	7,196	1,492	17,370	123.6%	15,750	1,620	
	売上総利益	5,008	3,541	97.3%	3,339	202	8,550	101.1%	7,810	740	
	販管費	2,748	2,891	121.9%	2,458	433	5,640	110.8%	5,110	530	
	営業利益	2,260	649	51.2%	880	△ 230	2,910	86.5%	2,700	210	
ES 部門	売上高	1,322	1,482	112.4%	1,307	175	2,805	110.1%	2,570	235	
	売上総利益	500	549	106.2%	514	35	1,050	101.2%	1,030	20	
	販管費	383	426	110.9%	396	30	810	98.0%	790	20	
	営業利益	117	122	92.4%	118	4	240	113.6%	240	—	
環境 資源	売上高	4,605	5,219	120.9%	4,597	622	9,825	123.8%	9,180	645	
	売上総利益	589	1,210	204.0%	894	315	1,800	423.7%	1,835	△ 35	
	販管費	778	821	106.9%	742	78	1,600	104.1%	1,485	114	
	営業利益	△ 188	388	—	151	237	200	—	350	△ 150	
配賦 不能	営業利益	△ 1,056	△ 993	—	△ 970	△ 23	△ 2,050	—	△ 2,050	—	

2011年3月期 通期業績見通し

(単位:百万円)		2011/3期							
		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
		実績値	前期比	実績値	前期比	修正 計画値	前期比	修正 計画値	前期比
売上高	7,274	115.7%	7,334	127.1%	8,001	133.9%	7,389	113.6%	
H S 部門	4,403	112.2%	4,277	130.2%	4,595	143.7%	4,093	112.2%	
E S 部門	649	100.2%	672	115.8%	737	111.3%	745	113.6%	
環境資源	2,221	129.6%	2,384	125.3%	2,668	126.2%	2,551	115.7%	
売上原価	4,157	115.2%	4,352	132.7%	5,445	144.1%	4,644	117.5%	
売上総利益	3,117	116.3%	2,981	119.8%	2,555	116.4%	2,745	107.5%	
販管費	2,505	95.9%	2,460	103.8%	2,540	114.8%	2,592	111.2%	
営業利益	611	916.6%	520	440.4%	15	—	152	68.9%	
経常利益	593	757.5%	496	896.6%	△ 6	—	146	74.3%	
当期純利益	440	522.8%	365	—	△ 130	—	223	—	

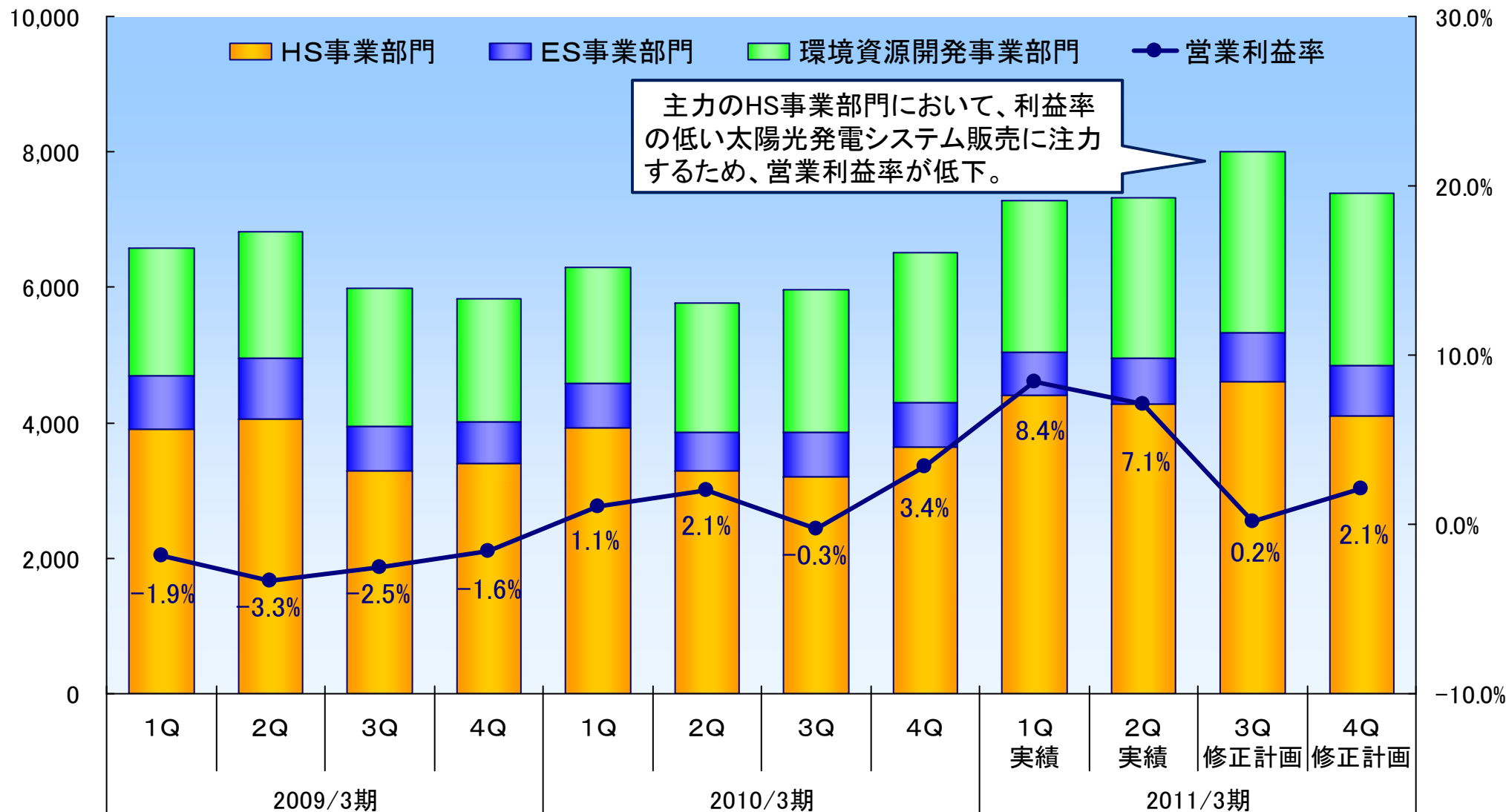
2011年3月期 セグメント別損益の見通し

		2011/3期								
		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		
		実績値	前期比	実績値	前期比	修正 計画値	前期比	修正 計画値	前期比	
(単位:百万円)		売上高	4,403	112.2%	4,277	130.2%	4,595	143.7%	4,093	112.2%
		売上総利益	2,674	100.2%	2,334	108.7%	1,680	99.4%	1,860	95.5%
		販管費	1,388	97.5%	1,360	105.0%	1,418	123.3%	1,472	120.7%
		営業利益	1,285	103.2%	974	114.4%	262	48.5%	387	53.3%
HS 部門		売上高	649	100.2%	672	115.8%	737	111.3%	745	113.6%
		売上総利益	238	87.2%	261	106.1%	269	100.4%	279	112.4%
		販管費	182	79.7%	200	94.3%	212	107.2%	214	114.9%
		営業利益	55	126.4%	61	179.9%	56	81.0%	65	105.1%
ES 部門		売上高	2,221	129.6%	2,384	125.3%	2,668	126.2%	2,551	115.7%
		売上総利益	204	—	385	406.1%	604	255.1%	605	169.9%
		販管費	383	95.9%	395	107.2%	408	104.8%	412	109.0%
		営業利益	△ 179	—	△ 9	—	196	—	192	—
環境 資源		売上高	△ 551	—	△ 505	—	△ 500	—	△ 493	—
		売上総利益								
		販管費								
		営業利益								
配賦 不能		売上高								
		売上総利益								
		販管費								
		営業利益								

2011年3月期 セグメント別四半期推移

■セグメント別 売上高・営業利益率の推移

(単位:百万円)



2011年3月期 HS事業部門見通し

<具体的戦略>

■既存商品販売の下半期見通しについては、ほぼ当初計画通り

■太陽光発電システム販売について

- 当社顧客向け直販—営業展開の修正に伴い、10月以降積極的な販売を展開。
- 販売店向け卸販売—関東地区を手始めに、ショールーム兼営業所を順次開設。販売店へのサポート体制を充実させ、販売拡大を目指す。

(単位:百万円)	2010/3期 実績	2011/3期 修正計画	2011/3期 当初計画	当初計画比 増減
売上高	14,056	17,370	15,750	+1,620
売上総利益	8,455	8,550	7,810	+740
販売管理費	5,090	5,640	5,110	+530
営業利益	3,365	2,910	2,700	+210

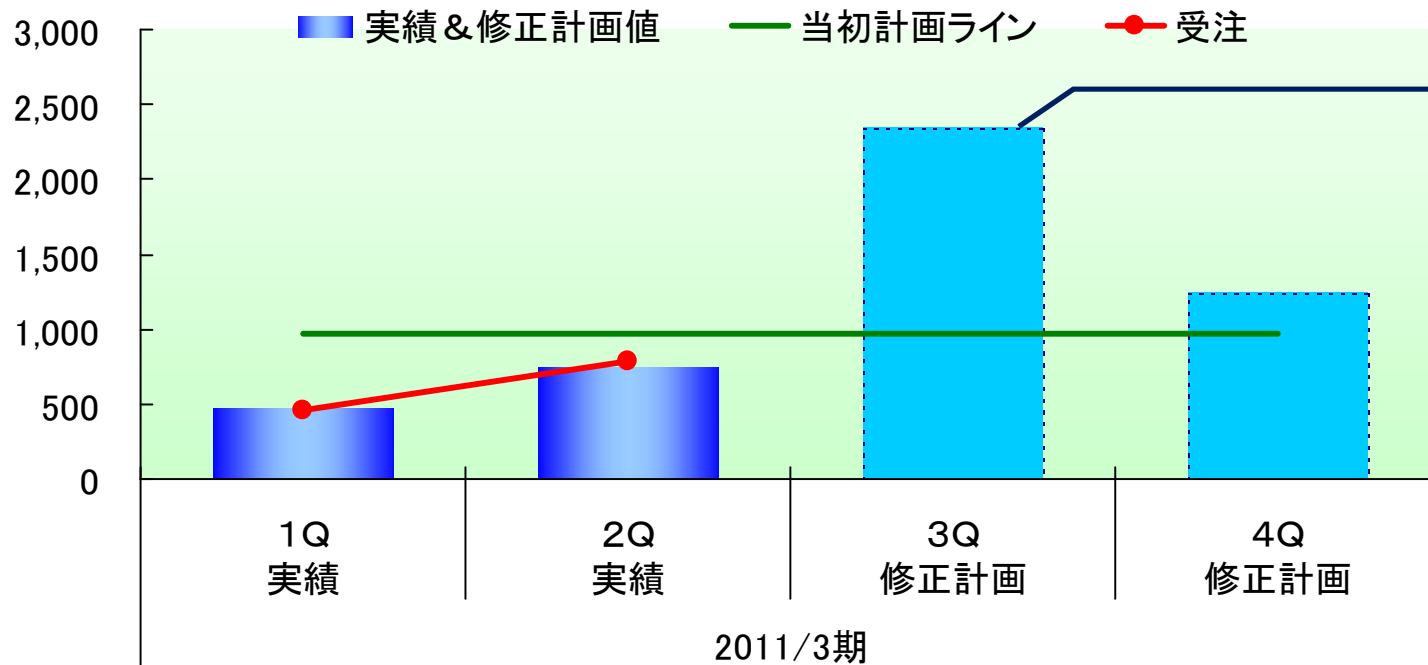
●太陽光発電システムについては、当社顧客向け直販、販売店向け卸販売ともに当初計画比増収の見通し。

●太陽光発電システム販売の当初計画比増収に伴い、利益面も当初計画比増益となる見通し。

2011年3月期 太陽光発電システム見通し

■太陽光発電システム販売の四半期推移

(単位:百万円)



◆9月度の結果

受注: 386百万円
実績: 266百万円

◆10月度速報値

受注: 826百万円
実績: 334百万円

10月度(速報値)では、
受注ベースで前月比
440百万円のプラス!

■太陽光発電システム販売の推移及び見通し

- 当第2四半期累計期間中は、既存商品販売に注力。10月より本格的に当社顧客向け太陽光発電システムの販売・施工を展開。
- 当第3四半期においては積極的に販売を推進するも、気象状況等の影響等もあり、冬季においては需要が減少すると想定し、当第4四半期は、当第3四半期に比べ、販売計画を低く設定。

2011年3月期 太陽光発電システム見通し

■主に東日本地区にて展開している販売店向け太陽光発電システム卸販売について、今後更なる業績拡大及び販売店向けサポート体制の拡充を図るため、ショールーム兼営業所を順次開設

主要なマーケットである関東地区のうち、下記3拠点を当第3四半期中に開設予定。

■ショールーム兼営業所の開設予定

拠点	管轄エリア
神奈川営業所	神奈川県、静岡県、千葉県、山梨県
埼玉営業所	埼玉県、群馬県
茨城営業所	茨城県、栃木県

●主要なマーケットである関東地区にて出店後、今後は各地域における販売店数やエンドユーザーへの販売実績を考慮しつつ、東北・甲信越・中京地区において、順次ショールーム兼営業所を開設する予定。

2011年3月期 太陽光発電システム見通し

■9月以降、取扱商品を一部変更・追加

従来取扱いのLS産電株式会社製太陽光発電システムに加え、現代重工業株式会社製太陽光発電システムを販売開始。なお、LS産電株式会社製太陽光発電システムについては、製品の改良により、発電効率が向上したものに仕様を変更。

■太陽光発電システムの製品ラインナップ

LS産電社製

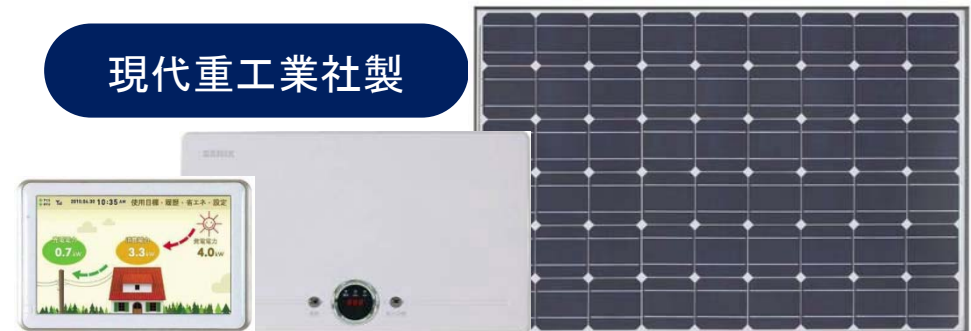


【旧タイプ】
 発電出力: 175W
 発電効率: 14.2%



【新タイプ】
 発電出力: 188W
 発電効率: 15.2%

現代重工業社製



モジュールサイズ: 1,476mm × 983mm
 発電出力: 209W 発電効率: 14.4%

※商品によっては、お取り扱いしていない地域があります。

■中国・上海市に太陽電池モジュール等製造子会社を設立

来期以降も、政府の政策等により高成長が予想される国内住宅用太陽光発電システム市場に対応する為、当社単独出資による太陽電池モジュール等製造子会社の設立を予定(平成22年10月27日開示)。

2011年3月期 ES事業部門見通し

< 具体的戦略 >

- 賃貸物件管理会社及び分譲物件管理会社向け法人営業による提携推進・関係深耕が堅調に推移。
- 新規開拓の最前線である関東地区にて店舗拡充を実施し、ビル・マンションへの太陽光発電システムの販売を推進。

虎ノ門事業所の施工・アフターサービスを行っている関東サービスセンターを事業所に昇格することにより、関東地区における営業機能を強化（平成22年10月27日開示）。

(単位:百万円)

	2010/3期 実績	2011/3期 修正計画	2011/3期 当初計画	当初計画比 増減
売上高	2,547	2,805	2,570	+235
売上総利益	1,037	1,050	1,030	+20
販売管理費	826	810	790	+20
営業利益	211	240	240	—

● 太陽光発電システム販売の増加により、当初計画比増収。

● 関東サービスセンターの販管費コストが増加するため、営業利益は当初計画から変更なし。

2011年3月期 環境資源開発事業部門見通し

< 具体的戦略 >

- 資源循環型発電事業については、1Qの定期修繕時追加工事実施により、安定的連続運転に成果が出ているため、11月に予定していた計画停止を見送り。
- 廃プラ加工処理については、引き続き搬入量拡大と品質向上に注力。
- 有機廃液処理について、廃棄物排出量の減少は当面続くものと予想されるため、コスト削減に注力する。

(単位:百万円)	2010/3期 実績	2011/3期 修正計画	2011/3期 当初計画	当初計画比 増減	
売上高	7,934	9,825	9,180	+645	●営業強化に伴い増収
売上総利益	424	1,800	1,835	△35	●品質向上に伴うコストの増加
販売管理費	1,537	1,600	1,485	+114	●営業強化に伴う人件費の増加
営業利益	△1,112	200	350	△150	●2Q累計のマイナスを吸収し、黒字化

2011年3月期 資源循環型発電事業見通し

■資源循環型発電事業の2Q計画差異要因

- 定期修繕時に、経年劣化に伴う修繕箇所が発見されたため、万全を期して安定操業を行うため、工期を延長して追加の修繕工事を実施。その結果稼働日数が減少し、収益が計画を下回った。
- 廃プラ加工処理において、品質向上を実施したため、最終処分費が増加し、収益が悪化。

下記施策により、収益は改善の方向に！



- 11月に予定していた計画停止を見送り。安定的連続運転により、収益改善

1Qの定期修繕時に追加工事を実施したことにより、下期の計画停止を見送り。また、廃プラ加工処理における品質向上に伴い、異物混入割合が減少したため燃料投入量が増加しており、高出力かつ安定的な連続運転に成果が出ているほか、売電先変更に伴い収益性が改善される見通し。

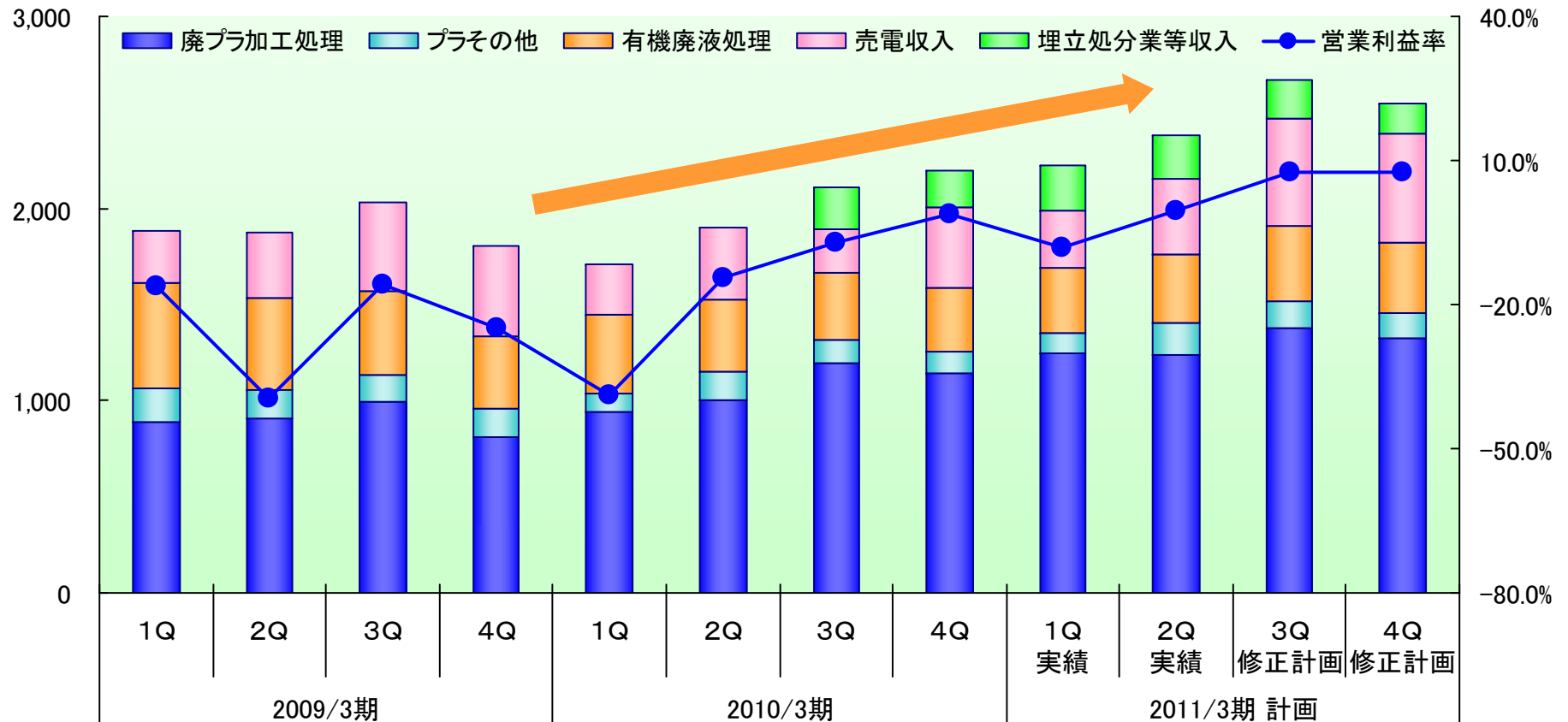
- 品質向上の徹底による収益性改善

廃プラ加工処理において、搬入量は堅調に推移するも、苫小牧発電所向け燃料及び外販燃料の品質向上に伴い、最終処分費が増加。排出元企業への指導及び搬入制限等の実施により、当第2四半期累計実績に比べて、今後は徐々に最終処分費が削減され、収益が改善される見通し。

2011年3月期 環境資源開発事業部門見通し

■売上高・営業利益率の推移

(単位:百万円)

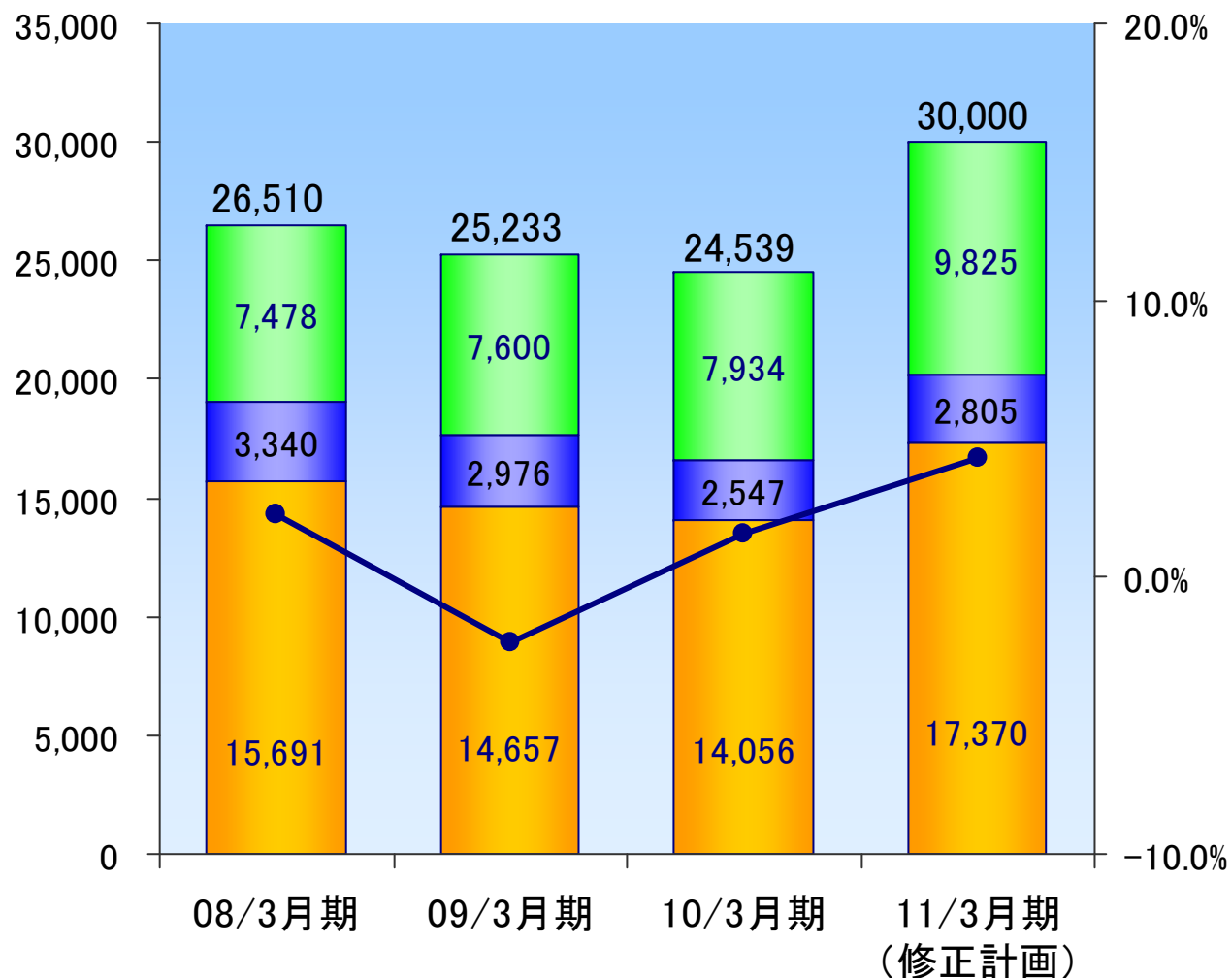


2010年3月期下期における資源循環型発電事業の回復基調が、今期においてより鮮明になり、年間を通して収益性が向上する見通し。

2011年3月期 全社見通し

■セグメント別売上高・営業利益率の推移

(単位:百万円)



2011年3月期見通し

売上高：30,000百万円

営業利益：1,300百万円

営業利益率：4.3%

■ HS部門 ■ ES部門 ■ 環境資源開発部門 ● 営業利益率

【参考】中期経営計画「Spring plan2012」 (2010年4月22日公表)

～中期経営計画「Spring plan2012」における経営戦略の基本的な考え方～

「環境」に対する社会的なニーズの進化に
合わせ、競争優位性を有するサービスと
商品の提供に経営資源を集中的に投下

計
画
実
行

計画最終年度までに、今後の
本格的な成長のための基盤
構築を完了

(単位:百万円)

		2008/3期	2009/3期	2010/3期	2011/3期	2012/3期	2013/3期
		実績値	実績値	実績値	計画値	計画値	計画値
売 上 高		26,510	25,233	24,539	27,500	27,850	28,700
	H S 部 門	15,691	14,657	14,056	15,750	15,380	15,470
	E S 部 門	3,340	2,976	2,547	2,570	2,610	2,650
	環 境 資 源	7,478	7,600	7,934	9,180	9,860	10,580
営 業 利 益 (営業利益率)		596	△ 596	390	1,240	1,520	2,000
		2.2%	-2.4%	1.6%	4.5%	5.5%	7.0%
	H S 部 門	4,176	3,470	3,365	2,700	2,350	2,160
	E S 部 門	△ 201	△ 89	211	240	270	290
	環 境 資 源	△ 1,269	△ 1,818	△ 1,112	350	940	1,580
	消去又は全社	△ 2,109	△ 2,159	△ 2,073	△ 2,050	△ 2,040	△ 2,030
経 常 利 益		495	△ 620	224	1,150	1,500	2,000

【参考】中期経営計画「Spring plan2012」の要約

HS事業部門

顧客基盤の縮小を最小限に抑えつつ、太陽光発電を第2の収益の柱に

ES事業部門

「選択と集中」により、確実に利益を確保し全社収益を底上げ

環境資源開発事業部門

廃プラ受入量増加と発電所の売電先変更によって全社収益源の1つに成長

企業価値の向上

巨大な未開拓マーケットが広がる「環境ビジネス市場」への積極的な展開

～2009

2010 ～ 2012
成長基盤の構築

2013～
本格成長期